

米国の移民労働者：

われわれのユニオンで学んだ教訓



カリフォルニア州立大学バークレー校

the Labor Occupational Health Project (LOHP 労働安全衛生プロジェクト)

CPWR (The Center for Construction Research and Training 建設研究訓練センター)

目次

概要

はじめにと要約.....	4
今日の建設労働力.....	7
ユニオンは何をしているか	11
成功するための課題.....	12
一般的な障害.....	12
労働者の英語学習支援.....	14
文化的二一ズへの取り組み.....	16
協同関係の構築.....	18
効果的な安全衛生訓練の提供.....	21
移民労働者の募集と組織化.....	26

会議の推奨事項

会議の議題.....	32
戦略.....	36
行動計画.....	37

資料／詳細情報

スペイン語での資料.....	41
ロバート・バルガスの開会挨拶.....	45
BCTD のマーク・エアーズ会長の声明.....	48
このレポートのインタビューを受けた人々.....	52
参照.....	53

はじめと概要

米国建設産業は過去 20 年間にヒスパニック系労働者の数が劇的に増加している。1990 年から 2000 年にかけて、建設業におけるヒスパニック系労働者は 70 万人から 150 万人に倍増した。これらの数字は 2000 年の 150 万人から 2007 年の 300 万人に 10 年足らずで 2 倍になった。これらの数字は住宅建設や商業建設の不況と下落のために減少したものの、アメリカ全土の建設現場で働く肉体労働者の約 30% を占めている。今日、アメリカの労働力に初めて入るヒスパニック系労働者のうち、3 人に 1 人が建設業の仕事に入っている。しかし、ヒスパニック系労働者や外国人労働者は、職場でより頻繁に死亡事故を起こし、他の労働者よりも賃金が低い。

外国人の雇用が急激に上昇する中で、業界は熱心ではあるがほとんど訓練を受けていないこの労働力を利用した。Building trades unions（建築業ユニオン）は、この新しい労働力を自分たちのメンバーの間で競合相手であるという見方があるのに直面した。多くの組合員、指導者、訓練者、組織者は、これらの新しい外国人労働者をユニオンの一員に迎え入れるよう求めていたが、不法労働状態はいくつかの課題を示し、とくに非熟練労働者にとって賃金を抑えた。ユニオンに加盟しない労働者は、建設業界の低賃金事業戦略の基盤となり、この安く非熟練労働は、自分たちの仕事、賃金、生活への脅威とみなされるようになった。

言語、文化、教育の各レベルの障壁もまた課題を生み出した。しかし、これはユニオンで解を求めて来た長い歴史の問題である。建設は移民の波の歴史的要塞であり、多言語の見習いプログラムは私たちの祖父やそれ以前に共通していた。ヒスパニック系の労働者が悪意のある雇用主にとって、御しやすいターゲットだったことをユニオンの指導者や組織者が認識したため、米国のユニオンは移民の権利を保護するために、ますます重要な役割を果たし始めた。

新しい外国人労働者の安全衛生訓練が、他の労働者を脅かすものではなく、多くの人々がそれをやりがいのありかつますます重要になっている訓練の優先事項と考えている。米国の construction unions（建設ユニオン）は、全国 1,650 の joint training centers（共同訓練センター）から強みと最善のトレーニング・イノベーションを引き出している。これらのセンターは地元の請負業者と共同で管理され、地元の建設労働市場の技能需要に密接に関連している。

建設労働力におけるヒスパニック系労働者の存在の増大によってもたらされる課題へのさまざまな地域的反応は、CPWR（The Center for Construction Research and Training 建設研究訓練センター）にユニオンのトレーナー、オルガナイザー、労働安全衛生の専門家の会議を開催するよう駆り立て、地方お

よび地域の建築・建設産業のリーダーがプレゼンテーションを聞き、ユニオンがこの最新の外国人労働者の波に手を差し伸べる方法について話し合った。

CPWR は、カリフォルニア州立大学バークレー校の the Labor Occupational Health Project (LOHP 労働安全衛生プロジェクト) および、the California State Building and Construction Trades Council (カリフォルニア州建築・建設業協会)、the National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH 国立労働安全衛生研究所) と協力して、「建設における外国人労働者：われわれのユニオンから学んだ教訓」がカリフォルニア州サクラメントで開催された。

140 名以上の関係者が参加したこの会議では、専門家による基調講演、地域組織、安全衛生専門家、ユニオンのトレーナーおよびオルガナイザーによるプレゼンテーションとディスカッション、5つの分科会で参加者は研修センターや地元のユニオンに持ち帰る戦略的計画を立案した。

会議の準備のため、LOHP の研究者は、ヒスパニック系建設労働者の雇用と訓練のベストプラクティスを開発するリーダーとして、彼らの仲間から見なされた、ユニオンのトレーナーや個人にインタビューした。LOHP の研究者は、これらのトレーナーやオルガナイザーの経験、そして彼らが明らかにした障害や、それらをどのように克服したかについての会議資料を作成した。

これらの会議資料は、会議の議題を伝え、この報告書の内容の多くを構成した。その会議資料は 11 ページから始まる。

会議は始まる前から成功するよう見えた。トレーナーは、長年にわたって多くの時間を費やしていたこの問題に関するより多くの情報を得ることを熱望していた。会議の参加登録はすぐにいっぱいになり、受け付けを閉めなければならなかった。

会議が終わるまでに、CPWR と LOHP は、参加者の熱心さ、ビジョン、強さに圧倒され、これらの労働者に手を差し伸べ、そして増加するヒスパニック系労働者を彼らのユニオンに加盟させる結果として、彼ら自身の地元での文化的な分裂の橋渡しするための、革新的かつ効果的な方法を見出した

この報告書は、会議資料、分科会の討論と結論、そして具体的に先に進めるための「次のステップ」をまとめたものである。参加者は、首尾の良い革新的なプログラムに関する、次の 5 つのワークショップに参加した。

- 言語的ニーズへの取り組み
- 文化的ニーズへの取り組み

- 協同関係の構築
- 効果的な安全衛生トレーニングの提供
- 日雇作業員（Day Laborer）プログラムとの連携

また、彼らは課題と障害を克服するための討論会にも参加した。

- 外国人労働者の募集と組織化のためのモデル
- ヒスパニック系リーダーの育成
- 見習いから一人前の職人への首尾のよい移行
- 法的問題の検討

各ワークショップでは、主要な傷害を強調し、試行錯誤や困難な利益で開発されたソリューションを提供した。「言語的ニーズへの取り組み」では、ユニオンのトレーナーとオルガナイザーは、スペイン語のみの研修プログラム、安全に関する用語や on-the-job English（仕事上の英語）の ESL（English as a Second Language）プログラム、成人教育とコミュニティーカレッジの ESL プログラムの課題と首尾のよい立ち上げを共有した。ワークショップの内容は、33 ページ、会議の議題に記載されている。

ワークショップのプレゼンターは、安全衛生訓練で経験と成功を共有した the United Brotherhood of Carpenters（米国最大の大工のユニオン）のトム・カビキーと the Painters and Allied Trades（塗装業のユニオン）のセ・オリバから、ユニオンが信頼できる団体との提携を構築する方法を提案した the Chicago Interfaith Committee（労働者と宗教者の連携をめざしている宗教団体）、そして the National Day Laborers Organizing Network（NDLON 全米日雇労働者組織ネットワーク）のパブロアルバラドと UCLA（カリフォルニア州立大学ロスアンゼルス校）Labor Center advised on ways to reach out to day laborers（日雇い者に手を差し伸べる方法をアドバイスする労働センター）のビクターナロまで並んだ。

主題発表者は、歴史的、経済的、個人的な状況を示した。the University of Utah（ユタ大学）の経済学教授であるピーター・フィリップスは、当初から現代に至るまで、われわれの移民の扱いについて慎重かつ有益な論評を行った。Maquilladora Health and Safety Support Network の Garrett Brown は、メキシコの農民や労働者が雇用を探して家族を賄うために国境を越えを敢行する経済的要因について語った。ミネソタからの塗装ユニオンのメンバーである Francisco Altamarino は、アメリカへの移民としての自分の、家族の経歴や移民の歴史についての話をして、分科会での全参加者の間での討論に優れたきっかけを与えた。

CPWR と LOHP は、最も危険な産業のひとつにヒスパニック系労働者を含め、建設業界全体での訓練と労働運動についての情報を提供するために、このレポートを作成した。この報告書とその資料をもとに、これらの革新的なユニオン指導者が学んだことを分かち合い、米国の工事現場をより安全にすることを希望するものである。CPWR と LOHP は、この報告の基礎を形成したものは、彼らの協力した経験、試行錯誤、そして知識であるので、会議に時間と労力を費やした参加者の皆さんと献身的トレーナーに多くの感謝を捧げるものである。